

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡してください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】

メールニュース

No.22-50
2022年 9月 15日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

安保中央常任幹事会オンライン兼 (9/14)

政府は民意に従い工事中止を 辺野古新基地反対の運動強化

安保破棄中央実行委員会は 14 日、オンラインを兼ねて常任幹事会を開き、当面の取り組みについて確認しました。

東森英男事務局長が報告し、沖縄県知事選挙で玉城知事が勝利したことについて、「2014年の翁長知事勝利と2018年の玉城知事誕生に続き、辺野古新基地反対を掲げた知事選の3度目の勝利であり、揺るがぬ沖縄県民の民意の表明」と述べ、岸田政権に辺野古新基地中止を求めるとともに、玉城知事による辺野古新基地の設計変更不承認を支持する運動などの全国での強化を呼びかけました。

また、岸田政権による安倍「国葬」に反対し、統一協会と自民党の癒着を追及する取り組み、大軍拡・改憲を許さないたたかひの強化を訴えました。討論では、沖縄県知事選挙で奮闘し



安保中央常任幹事会(全労連)
会議室オンライン

た各団体の運動が交流され、全商連、新婦人、全労連、自治労連、平和委員会、民医連から現地に行つての支援の経験や県民の反応、全国からの電話での支持の訴えの教訓が報告されました。

当面の行動では、19日に行なわれる「国葬反対、さよなら戦争 さよなら原発 大集会」、27日の安倍元首相「国葬」反対国会正門前大行動の成功へ向けた取り組みが確認されました。

沖縄県知事選挙は、「オール沖縄」の玉城デニー知事が圧倒的勝利をしました。沖縄県知事選挙の結果について東森英男事務局長が談話を発表しました。

沖縄県知事選挙の結果について(談話)

11日に投開票された沖縄県知事選挙では、辺野古新基地反対を掲げる玉城デニー知事が33万9767票を獲得し、自民・公明推薦の佐喜真氏に6万4923票の差をつけて再選を果たしました。

これは、玉城知事が、辺野古新基地反対は「1ミリもぶれない」とした立場に対する県民の支持であり、沖縄県民の明確な民意を示したものです。私たちは、岸田政権が、沖縄の民意に従って、ただちに辺野古新基地を中止するよう強く求めます。

今回の選挙で自公の佐喜真氏は、前回の知事選であいまいにしていた辺野古新基地について「容認」の立場を明確にして、新基地強行のための県政奪還をはかってきました。その点で今回の選挙結果は、岸田政権にとってごまかしようのない審判です。

今回の玉城知事再選は、2014年の翁長知事勝利と2018年の玉城知事誕生に続き、辺野古新基地反対を掲げた知事選の3度目の勝利であり、揺るがぬ沖縄県民の民意の表明です。

玉城デニーさんは今回の選挙で、台湾問題で緊迫する米中関係の中で、沖縄を再び戦場にさせない立場を表明するとともに、「誰1人取り残さない、沖縄らしい優しい社会」実現を掲げ、子どもの貧困解決やコロナで落ち込んだ経済の回復を掲げて県民の支持を広げました。県知事選挙と同時に行なわれた県議補欠選挙でオール沖縄の上原快佐氏が当選し、県議会の与党過半数を守ったことも重要です。

さらにいま、統一協会と自民党の癒着、この問題の解明にふたをしたままの安倍「国葬」の強行が大問題になる中で、統一協会と深い関係をもつ候補者が自公が擁立したことに県民の批判が高まったことは明らかです。

私たちは、政府・与党ぐるみの総攻撃に屈しなかった沖縄県民に敬意を表するとともに、玉城知事再選に奮闘したオール沖縄のみなさん、先頭に立ってたたかっていた沖縄県統一連のみなさん、支援した全国のみなさんの奮闘をたたえたいと思います。

沖縄のたたかひは、岸田政権が進める大軍拡と改憲を許さないたたかひの最前線です。当面する、安倍政治賛美の「国葬」に反対し、自民党の統一協会との癒着を許さないたたかひとも結合して、辺野古新基地を断念させるたたかひに全力をあげる決意です。以上

9月の主な日程

- 9月19日(月)「国葬反対、さよなら戦争 さよなら原発 大集会」代々木公園 13時半～
- 9月22日(木) 安保中央の宣伝 12時～新宿駅西口
- 9月27日(火) 安倍元首相「国葬」反対国会正門前大行動 14時～